

全会一致で可決（承認・同意・認定）された議案等

議案第 55 号	専決処分の承認について（令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第7号））
議案第 56 号	専決処分の承認について（令和3年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第1号））
議案第 57 号	瑞穂町個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
議案第 58 号	瑞穂町手数料条例の一部を改正する条例
議案第 59 号	瑞穂町福祉バス運行基金条例を廃止する条例
議案第 60 号	瑞穂町副町長の選任について
議案第 61 号	瑞穂町固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第 62 号	瑞穂町道路線の廃止について
議案第 63 号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第8号）
議案第 64 号	令和3年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第 65 号	令和3年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
議案第 66 号	令和3年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第 67 号	令和3年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第 68 号	令和3年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第 69 号	令和3年度瑞穂町石畑財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第 70 号	令和3年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第 71 号	令和3年度瑞穂町長岡財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第 72 号	令和2年度瑞穂町一般会計歳入歳出決算認定について
議案第 73 号	令和2年度瑞穂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 74 号	令和2年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 75 号	令和2年度瑞穂町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 76 号	令和2年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 77 号	令和2年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 78 号	令和2年度瑞穂町石畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 79 号	令和2年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 80 号	令和2年度瑞穂町長岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第 81 号	令和2年度瑞穂町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について
議案第 82 号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第9号）
議案第 83 号	令和3年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第 84 号	令和3年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議員提出議案第 2 号	瑞穂町議会会議規則の一部を改正する規則
議員提出議案第 3 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

pick up!



※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。

～総務産業建設委員会で審査～

日本が「核兵器禁止条約」に署名・批准するよう、政府に意見書を提出して欲しい

2つの陳情
一括審査

3陳情第11号

「核兵器禁止条約の署名、批准に関する陳情」

提出者 新日本婦人の会お茶の実会
代表 青木 道子

3陳情第12号

「核兵器禁止条約の署名・批准を求める陳情」

提出者 みずほ9条の会
共同代表 谷 四男美、榎 まゆみ

委員会での審査および討議

亡くなった方は、広島で14万人、長崎で7万4,000人、被爆の後遺症で亡くなった方も合わせると50万人に達する。日本は唯一の被爆国であり、署名すべきであった。

政府はこの条約を否定しているのではない。単に署名・批准するのではなく、実効性のあるものにすることが重要と考えたのではないかと。

核兵器の保有国と非保有国の対立、分断を回避し、核によらない安全保障の在り方について進めていくことを担えるのは唯一の被爆国である日本であると考えて判断していると思う。

戦後、世界では内戦も含めて100以上の戦争があるが、核兵器は使われていない。現時点で、核兵器が抑止効果になっているという許されざる現実がある。

隣国は国連のあらゆる決議を無視し、核実験や弾道ミサイルの実験をしている。核兵器を保有していない日本が核の脅威にさらされている状況にある。

核兵器廃絶は賛成だが、現実には国民の命を守るために何が必要か拙速に判断はできない。

国内外の動向も含めて、深く広く情報を収集して結論を下すべき重要な内容であり、継続してさらに調査を進めるべきだと思う。

審査の結果、全会一致で、次回定例会までに調査を継続して行っていくことになりました。

オスプレイの市街地上空での低空・旋回飛行の中止などを強く要望

8月4日、町と共に、北関東防衛局、防衛省（市ヶ谷）を訪問し、横田基地対策について要望活動を行いました。*
今夏にオスプレイが1機追加配備され、これまで以上に騒音や低周波振動が懸念されることから、C-130輸送機なども含めた低空飛行による旋回の中止を求めると共に、コロナ感染症や事故の速やかな情報提供などを強く訴えました。また、災害時の対応なども言及し、さらなる協力を求めました。
*緊急事態宣言中のため、総務省・外務省・環境省は郵送で実施。



委員会活動報告
基地対策特別委員会



※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。